

リーディングDXスクール事業【実践事例】

世田谷区立中丸小学校

【取組内容】 動画教材を授業に生かす

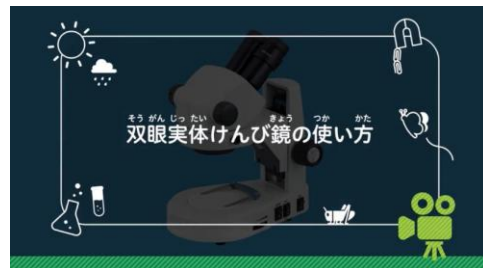
【成果】

教科書の二次元コードからアクセスできる動画や教員が自作した動画を活用して、少ない授業準備の時間で質の高い映像を使えるようになった。

【使用場面】

①手順を確認するとき

家庭科ではミシンの使い方、理科では顕微鏡の手順を確認するなど初めての学習道具を扱う際に、動画教材を利用する。



②実際に観察が難しいものを見る

理科の星空観察や月の動きなど日中の学習時間には観察が難しい単元がある。そのときに動画教材を使用することで、昼間でも夜の月の動きなどを観察することが可能になる。

社会科で働いている人について調べる際に、写真だけでは実際に何をしているのか分かりづらい部分もある。動画教材を利用することで、どのように働いているかなど多くの情報を得ることができるようになる。

【教員や児童の変容】

今までは教員が口頭で説明することが多かったが、動画を見せるという選択肢が増えたことで、指導の幅を広げることができた。また、児童が動画を繰り返し視聴することが可能になったため、繰り返し見る中で自分のペースで理解をしていくことが可能になった。